

9/25 第1回氏家駅東地区魅力向上まちづくり基本策定懇談会 会議録【要約版】

日 時：2025/09/25 9：30～11：00

場 所：氏家公民館 2階 視聴覚室

全体として、令和7年度第1回「氏家駅東地区魅力向上まちづくり基本計画策定懇談会」では、氏家駅東地区の交通安全や混雑解消、商店街の活性化などを主眼に、まちづくりの基本計画の方向性の確認と意見交換が行われました。

主な内容は以下の通りです。

1. 開会・委嘱・役員選任

- ・課長が進行し、市長の挨拶の後、各委員（学識、行政、交通事業者、地域代表など）を紹介。
- ・長田委員が会長、加藤委員が副会長に選任され、計画の策定体制が整えられた。

2. 基本構想・計画の背景と概要

- ・令和4年に策定された「氏家駅東地区まちづくり基本構想」を踏まえ、交通混雑の解消、歩行者や自動車の安全確保、そして地域の魅力と住みやすさ向上を狙った計画が示された。
- ・当初都市計画決定である16m幅員及び12m幅員の道路の整備、無電柱化や地下埋設といったインフラ改善と、商店街の再活性化、駅前広場の拡大、公共施設誘致などが具体的に検討され、全体の区域を複数のフェーズ（第1期、第2期、第3期）に分けた整備計画が説明された。

3. 意見交換と質疑応答

- ・会議では、交通流改善、徒歩・自転車利用の向上、商店街活性化、バスやJR駅へ向かう自動車の乗降エリア、駅前ロータリーの改善などについて、各委員から具体的な懸念や提案が出され、技術的および運用面での調整や今後の実施方法について議論された。
- ・12m道路における無電柱化の方法や、駅前広場の利用拡大、商業利用、さらには住民意見や地域公共交通の在り方についても意見が交わされた。

4. 今後の予定

- ・本日の意見を反映した基本計画案を次回11月頃の懇談会でまとめ、さらに地域住民や関係機関との調整を行う方針で、計画策定を進めることが確認された。

このように、多様な関係者の意見を取り入れながら、長期的な商店街活性化と安全・利便性向上を目指すまちづくり計画が具体的に検討される場となりました。

●質疑応答

Q 都市計画道路氏家喜連川線も氏家停車場線も無電柱化は検討されているのか。

A 地中化やその他の手法を用いて、幅員や予算を勘案しながら両路線とも無電柱化を検討している。

Q 企業や商店の誘致を行い、にぎわい創出に取り組んでいただきたい。

A 企業や商店が出店しやすいように、まずは道路の整備や区画の整備を図っていく。にぎわいの創出については、関係各課とも連携し進めていきたい。

Q 複合施設の誘致について、現段階では具体的な案はあるのか。

A 具体的な方針はないが、氏家駅東地区は立地適正化計画で都市機能誘導区域として位置付けられていることから、スーパーや医療機関等の誘導を図りたい。

Q 駅前の渋滞緩和を考えるうえで、現計画より更に駅前広場の拡張予定があるのか。

A 駅前広場の拡張だけでは交通渋滞の緩和は困難かと思われることから、周辺道路の整備を行い、駅前へ流入する交通量を分散していきたいと考えている。

Q 他自治体の事例では無電柱化を含め、街並みがきれいになっているが、人の流れなどの現状を把握することが必要ではないか。

A 今回の資料の写真では人の流れが見えないが、大田原市の「トコトコ大田原」は、市街地再開発事業で整備され、周辺に人々が集まっている。黒磯駅前も、近くに市の施設を整備し利便性が向上している。

Q 道路拡幅での移転や土地の買収が懸念されるが、市の考えとしては何かあるのか。

A 単純に買収するのではなく、土地区画整理事業の手法を用いることを想定している。公共施設（道路や公園）の整備のため、地権者から少しずつ土地の提供をいただくことにはなるが、地形を整え、土地利用の利便性向上が見込める。

Q 県内各所の駅前広場整備事例の視察に行くことは可能か。

A 具体的な駅前広場の整備については、今後実施設計等の具体的なステップに進んでからの意見として検討していきたい。

●要望

- ・バスがロータリーに入れず、電車に間に合わない事例があるので、自家用車の滞留の緩和を図っていただきたい。また、バスがロータリーに入れず道路上で停車せざるを得ない状況もあることから、ロータリーでのバスバースを広く確保していただきたい。
- ・ロータリー内での事故を防ぐため、横断歩道の設置個所は配慮いただきたい。